

令和5年6月1日

水と上手に向き合う

南九州市立霜出小学校
校長 石川 雅実

6月に入りました。旧暦では6月を「水無月」と言います。「水の無い月」と書きますが、「無」は「の」にあたる助詞で「水の月」という意味があるそうです。田んぼに水を引く時期で、梅雨にも入り、雨がたくさん降る月なので、そのように言われるようになったそうです。

雨の日が多くなるので少し憂鬱ですが、雨が降らないと水不足になり、人間や動植物などの生き物にとっては死活問題です。節水に努め、水を大切に使用したいものです。

また、毎年のように各地で豪雨災害が起こっています。事前の警戒を怠らないようにしたいと思います。非常食等の防災グッズ、避難場所や避難経路の確認を確実に行いたいと思います。

水泳学習も始まります。子どもたちには泳力の向上と体力・気力づくりに励んでほしいと思います。また、着衣水泳も計画しています。水難事故の防止にも留意させたいと思います。水に親しみつつも恐れ、侮らず、水と上手に向き合っていきたいものです。

令和5年6月9日

時の記念日を前に

南九州市立霜出小学校
校長 石川 雅実

朝の目覚めとともに新しい一日の始まりです。当たり前のことですが、自分史の中で一番新しい一日です。難しいことではありますが、自分史上最新で、最善な生き方をしたいものです。そのように分かってはいても、なかなかできないことも人間の人間らしさなのかも知れません。

人生は日々の積み重ね、思い出でできています。できることなら喜怒哀楽を楽しめる人生を送りたいものです。そして、周囲に感謝しながら、よりよく生きることに食欲に挑戦し続けたいと思います。

時を戻すことはできません。しかし、過去から学ぶことはできます。ウクライナ情勢の悪化を伝えるメディア報道を見聞きするたびに心が痛みます。今こそ過去の教訓を生かし、平和な国際社会の秩序や良識ある経済活動を展開するときだと思います。難しい問題ではありますが、人間が起こした問題は必ず人間が解決できる問題だと信じています。

6月10日の時の記念日を前にそんなことを考えました。

令和5年6月14日

父の日を前に想ったこと

南九州市立霜出小学校
校長 石川 雅実

6月18日は父の日です。私の場合、私や妻の父親もすでに他界していますので、プレゼントを贈ったり、電話をかけたりすることもできなくなりました。

就寝前に元気だった頃の父を懐かしく思い出しました。そして、家族の近況報告、日々の健康や安全祈願、幸せに生きられるようにと両手を合わせました。きっとその願いを叶えてくれるだろうと自分勝手なことを思いました。心が落ち着き、心強くも感じられました。時間を見つけ、墓参りに行こうと思いました。

人は皆、さまざまな悩みや不安を抱え、必死に生きているのが現状ではないでしょうか。ストレス解消法の一つとして、先祖の墓参りに行き、両手を合わせ、心配事や悩んでいることなどを心の中で語りかけてみてはどうでしょうか。故人を偲び、手を合わせるだけで、効果が表れる人もいるかも知れません。お墓や御仏壇は、むしろ生きている人のためにこそ必要なのではないかと、父の日を前に改めて思いました。

令和5年6月19日

霜出げんきマルシェに参加して

南九州市立霜出小学校
校長 石川 雅実

6月18日（日）に霜出げんきマルシェが霜出地区公民館で開かれました。私は霜出地区公民館運営協議会の夢サポート委員会や霜出を考える会の委員として、マルシェの計画段階から関わらせていただきました。

4月から当日まで、複数回の事前協議に参加させていただきました。毎回、前向きで熱い協議が展開されます。公民館長さんを中心に、委員の方々全員の地域活性化に向けた意気込みを強く感じます。住みよい地域づくりのために知恵を出し合う協議会に参加させていただき、私なりに多くのことを感じ、学ばせてもらっています。令和の時代の学校教育で目指す「主体的・対話的で、深い学び」を文字通り実感しています。

当日はあいにくの天候でしたが、父の日でもあり、多くの家族連れで賑わいました。本校児童も、ゲームコーナー等で楽しそうに笑顔を見せていました。マルシェに関わったすべての方々、準備や当日の係分担、後片付け等、本当にお疲れ様でした。

令和5年6月23日

社会科見学に参加して

南九州市立霜出小学校
校長 石川 雅実

4年生の南薩畑地かんがい施設体験学習に参加させていただきました。

池田湖に河川からの水を貯水したり、また、南薩台地の畑に送水したりする施設や仕組みについて、南薩土地改良区中央管理所の方々から詳しく説明していただきました。日頃は立ち入ることのできない中央管理所内部や用水機場、頭首工、ファームポンドに実際に見学させていただき、水の導水を間近で見ることができました。子どもたちも興味津々で係の方へいろいろと質問をしていました。教室内では学ぶことのできない貴重な体験学習になりました。私も初めて見聞きする施設や説明に、多くのことを学ばせていただきました。

知らないことが世の中には溢れています。また、日頃目にすることのない多くの場所で、多くの方々が一生懸命に働いておられます。そのおかげで、日々を快適かつ安全に生活できるのだと改めて実感しました。働いている全ての方々に、感謝の気持ちが湧いてくるそんな見学となりました。